

スポーツ振興について(1)

1 スポーツを通じた国内外との交流促進

(1) 東京オリンピック・パラリンピックスポーツ交流創出事業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、聖火リレーの実施やホストタウン相手国の事前合宿の受入れを通じて、スポーツ振興と地域の活性化を図る。

①東京オリンピック聖火リレーの実施

- 5月27日(木)～28日(金)に、新型コロナウイルスの感染対策を講じて公道での聖火リレーを実施し、178名の聖火ランナーが県内全市町を聖火でつなぐことができた。

聖火リレールート	1日目 5/27	高島市→守山市→野洲市→近江八幡市→竜王町→ 湖南市→栗東市→草津市→大津市
	2日目 5/28	甲賀市→日野町→東近江市→愛荘町→豊郷町→ 甲良町→多賀町→彦根市→米原市→長浜市
聖火ランナー	178名(1日目 95名 2日目 83名)	

- 今後は、出発式やセレブレーション等の式典で演奏等を披露できなかった中学校や高校、団体の皆さんの演奏等の動画撮影を行い、県のホームページ等で発信していく。

②ホストタウンによる事前合宿の受入れ

- ホストタウン相手国からの事前合宿の受入準備を関係市とともに進めている。
- 相手国の受入れにあたっては、選手の移動には専用車両の確保や、行動は宿泊施設と練習会場との往復のみに限定するなど、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底することが求められている。
- こうした中で、日本での感染状況や感染対策による相手国・受入国双方の合意により、甲賀市(シンガポール)、米原市(ニュージーランド)および彦根市(スペイン)の事前合宿が取りやめとなった。

相手国	合宿地	競技	期間
ニュージーランド	大津市	ボート	7/11～7/18
	米原市	ホッケー(男子)	取りやめ
スペイン	彦根市	ハンドボール(女子)	取りやめ
トルコ	守山市	ゴールボール、視覚障がい者柔道	8月
シンガポール	甲賀市	パラスポーツ	取りやめ

(2) ワールドマスターズゲームズ 2021 関西

- ・ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催に向け、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会、滋賀実行委員会、開催市実行委員会の3者で連携し、準備を進めている。
- ・当初は令和3年5月の開催予定であったが、昨年11月の国際ワールドマスターズゲームズ協会の総会で、1年の延期が決定し、令和4年5月を会期とする新たな競技日程を今年3月に発表したところ。
- ・令和4年度に、大会全体で35の公式競技を開催することとしており、本県では6つの公式競技と2つのオープン競技を開催する予定。

【公式競技日程およびエントリー状況(R3.6.30現在)】

競技種目 〔開催市〕	予定募集枠 (想定参加者数)	エントリー数	5/13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	5/29 日	
野球 (軟式野球) 〔東近江市〕 〔守山市〕	66チーム (1,100人)	34チーム (237人)	開 会 式 (京 都 市)	○	○	○	○	○	○	○										閉 会 式 (大 阪 市)
ホッケー 〔米原市〕	70チーム (840人)	22チーム (72人)		○	○	○	○	○	○	○	○									
ソフトボール 〔草津市〕 〔守山市〕 〔東近江市〕	182チーム (2,700人)	45チーム (122人)										○	○	○	予備日	○	○	○		
ボート 〔大津市〕	861クルー (2,000人)	214クルー (306人)								△	△	○	○	○	○	○				
陸上競技 (10km0-ドレス) 〔彦根市〕	1,120人	1,082人										○								
カヌー (ドローボート) 〔大津市〕	10人漕ぎ 80チーム 20人漕ぎ 65チーム (2,000人)	61チーム (251人)															△	○	○	
計	463チーム 861クルー 9,760人	162チーム 214クルー 2,070人																		

○・・・競技日、△・・・練習日・監督者会議等

【オープン競技開催自治体・日程】

競技種目	開催自治体	日 程
パドルテニス	守山市	5月14日(土)・15日(日)
トレイルランニング	高島市	6月19日(日)

- ・現在、開催市実行委員会が中心となり会場・競技運営等の準備を進めているほか、びわこビジターズビューロー等の協力を得ながら観光プランをつくり、大会ホームページを通じて予約を受け付けている。
- ・令和2年2月から参加申込みを受け付けているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からの申込みが伸び悩んでいる。渡航制限の緩和や東京オリパラの状況を見据えながら、更なる参加者の獲得に努める必要がある。

2 スポーツを通じた健康づくりと地域の活性化

(1) 県民のスポーツ実施率の向上に向けた取組

- ・ 県民の運動・スポーツ習慣化につながる取組を実施し、スポーツを通じた県民の健康づくりを推進している。

【成人の週1日以上運動・スポーツ実施率】

		H30	R1	R2	R3	R4(目標年度)
全国(a)		55.1%	53.6%	59.9%	—	65%
滋賀県	実績(b)	39.9%	44.1%	48.7%	—	—
	目標値※	—	44%	53%	61%	65%
差(b - a)		△15.2	△9.5	△11.2	—	—

※R1～R3の目標値は、滋賀基本構想実施計画で定めているもの。

※R4(目標年度)の数値は、第2期滋賀県スポーツ推進計画で定めているもの。

(出典) 国：スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

県：「滋賀県スポーツ実施状況調査」

- ・ コロナ禍でリモートワークが増えたことや、感染防止策の影響で「自宅内や周辺での運動・スポーツ」や「動画によるトレーニングや体操」が増加していることから、取り組みやすいウォーキングや、コロナ禍でも自宅で運動ができるオンライン教室の提供等を行っていく。

【障害者の週1日以上運動・スポーツ実施率】

		H30	R1	R2	R3	R4(目標年度)
全国(a)		20.6%	25.3%	24.9%	—	40%
滋賀県(b)		—	—	28.9%	—	※65%
差(b - a)		—	—	4.0%	—	—

※R4(目標年度)の数値は、第2期滋賀県スポーツ推進計画で定めているもの。

(出典) 国：スポーツ庁「障害児・者のスポーツライフに関する調査」

県：「障害のある方のスポーツに関する調査」

- ・ 障害者が気軽にスポーツに親しめる機会を提供するため、ボッチャやフライングディスク、ゴロ卓球などが体験できるスポーツイベントを開催する。
- ・ 障害者スポーツのすそ野拡大と身近な地域で障害者がスポーツを楽しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブで障害者スポーツ教室を実施する。

(2) 「支える」スポーツの普及（スポーツボランティア支援事業）

- ・ワールドマスターズゲームズ 2021 関西や、2025 年に本県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会等の大規模スポーツイベントの開催を視野に入れ、ボランティアの確保と育成を推進している。

[令和3年3月31日現在登録者数：3,629名（前年度比250名増）]

- ・今後の大規模スポーツイベントに向けて研修会を行うなど、ボランティアの登録者を実際の活動参加につなげて、様々な経験を積んで頂くことが重要である。

(3) 新しいマラソン大会の開催準備

- ・2021年の第76回大会をもって滋賀県での開催が終了した「びわ湖毎日マラソン」は、沿道の県民にスポーツの感動を伝えるとともに、本県の魅力を全国に発信してきた。一方、「びわ湖レイクサイドマラソン」は、更なる内容の拡充を期待されているが、歩道を使用したコース設定など現在の開催形態では、これ以上の拡充は難しい。
- ・びわ湖毎日マラソンの「見る」喜びから、スポーツを「する」感動を味わい、滋賀の魅力を「体感する」ことで、更なるスポーツ振興や滋賀の魅力発信を行えるよう、びわ湖レイクサイドマラソンを充実・発展した新しいマラソン大会の開催に向けて準備を進める。

【新しいマラソン大会の実現に向けて】

- 県民に愛され、誇りに感じられる県を代表するマラソン大会の実現
- 県内外の幅広い世代の参加者によるスポーツ体験
- 美しい滋賀の風景を多くの方に体験いただくことによる本県の魅力発信
- スポーツをする感動を通じた心身の健康増進による「健康しが」の推進

【開催準備スケジュール】

令和3年度
○新マラソン大会の開催に向けて、関係者および学識経験者等で構成する大会準備委員会を設置し、開催概要等の検討など実施計画を策定する。 ○準備委員会での実施計画の策定後は、大会実行委員会に移行し、大会開催に向けた具体的な準備に着手する。
令和4年度
○実行委員会で大会運営、募集要項作成、ボランティアの確保等、開催に向けた具体の準備を進め、令和4年度後半に新大会を開催する。

(4) プロスポーツ等を活用したスポーツの振興

- ・ 地元のプロスポーツチームは、熱心なファンに支えられるとともに、地域密着の活動をされるなど住民意識も高く、また子どもたちからは憧れの存在であるなど、本県のスポーツ振興にとって重要な存在である。
- ・ プロスポーツチームが持つ集客力や発信力を活用し、県民の運動習慣化につながる啓発や、国スポ・障スポ等のPR等を行い、県民のスポーツへの機運醸成を図る。

対象チーム	取組内容
滋賀レイクスターズ(バスケットボール)	・ 試合会場での横断幕掲出 ・ 啓発ブースの出展 ・ SNSを活用した啓発
オセアン滋賀ブラックス (野球)	
MI Oびわこ滋賀 (サッカー)	
東レアローズ (バレーボール)	

- ・ 新型コロナの感染対策のため、観客数を制限して試合が開催されることもあり試合会場での発信に加え、各チームが有する広報媒体やSNS等を活用した取組を進める。